

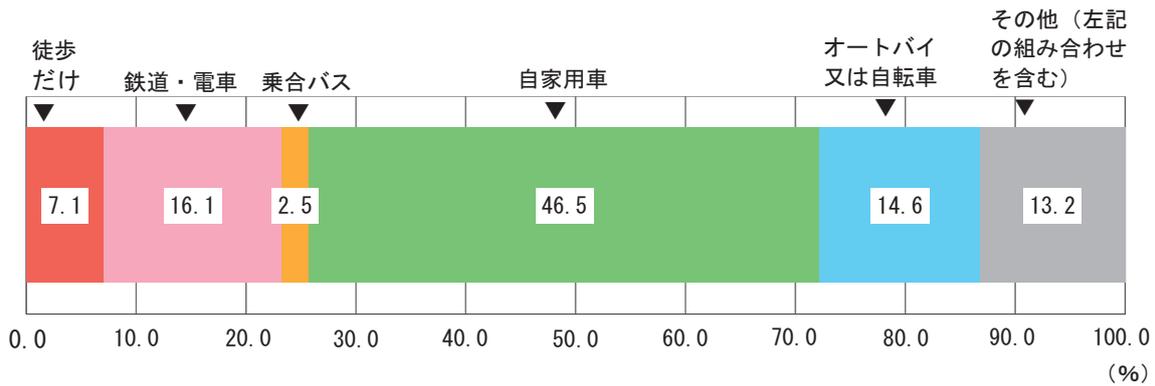
2-4 通勤・通学 —電車？車？それとも…？—

みなさんは毎日、学校や職場へどのようにして通っていますか。「徒歩」という人もいれば、「電車で他県へ」という人もいます。通勤・通学に利用する交通手段や、昼と夜の人口が大きく異なる地域についてみていきましょう。

Q1 どうやって通勤・通学している人の割合が高い？

H22 確報

利用交通手段別15歳以上自宅外通勤者・通学者の割合—全国（平成22年）



A 「自家用車」(46.5%)

- ◆ 「鉄道・電車」で通勤・通学する人の割合は2番目に高い(16.1%)

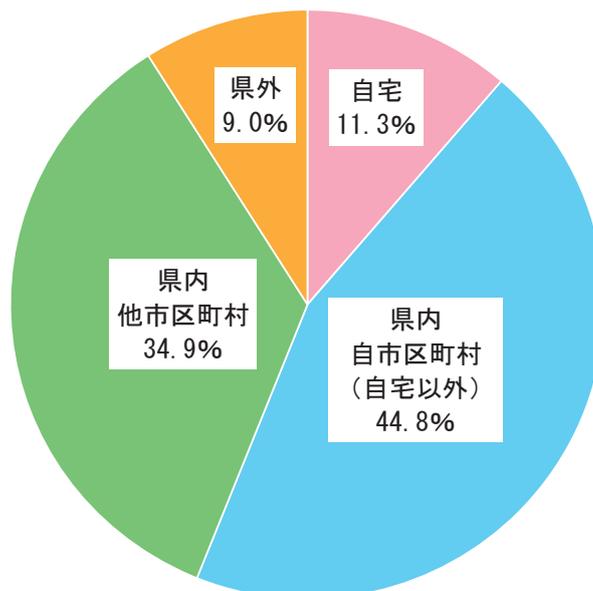
用語⑥ P. 33

注意点⑦ P. 34

Q2 どれくらい遠くの職場へ通っている人が多い？

従業地別15歳以上就業者の割合—全国（平成27年）

速報



A 県内の自市区町村(自宅以外)(44.8%)

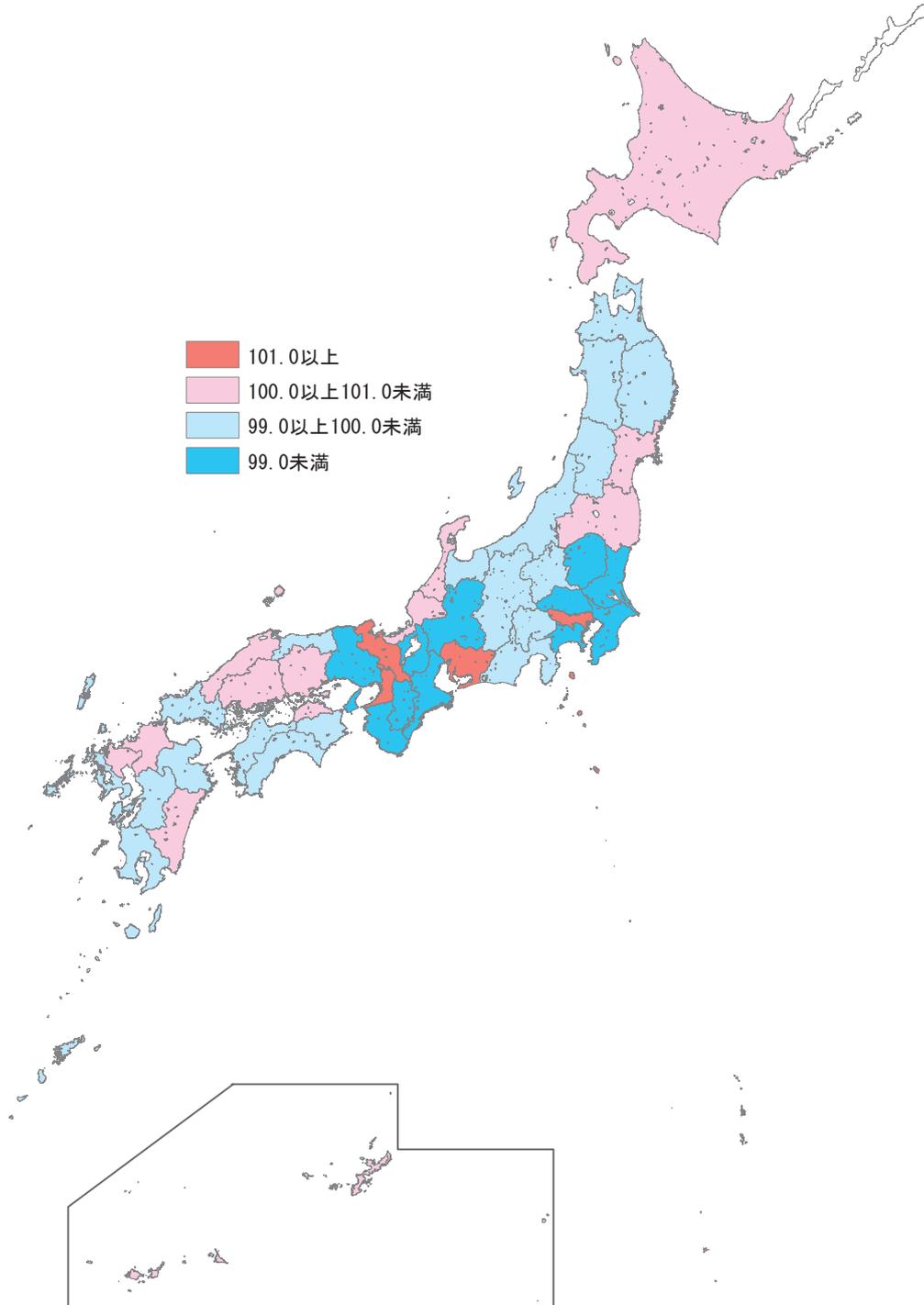
- ◆ 県外の職場へ通っている人の割合は低い(9.0%)

注意点⑧ P. 34

Q3 昼と夜では人口が違う？

速報

昼夜間人口比率—都道府県（平成27年）



2-4
通勤・
通学

A 東京都、大阪府、京都府、愛知県では、昼間の人口が多い（通勤・通学により人が集まるため）

◆ 東京都、大阪府、京都府、愛知県の周辺の県では、夜間の人口が多い（昼間は都市部の職場や学校に通い、夜間は自宅がある地域に帰るため）

用語⑦ P. 33